

「地域とともにある澁刺とした学校」をめざして

下関市立川中西小学校

学校運営協議会について

①実施回数

4回開催(1学期1回 2学期1回 3学期2回)

②主な協議内容

- ・地域とともにある澁刺とした学校づくりについての協議

学校の代表として3部会の部長から、本校の取組状況や課題についての具体的な説明を行いました。その後、学校運営・学校支援・地域貢献の観点から、学校運営協議会委員の意見を聴取し、取組の改善や新しい取組について話し合いました。最後には、地域連携教育アドバイザーの指導をいただきました。



学校運営協議会



3校合同研修会

特色ある活動

◆学校運営に関する取組

- 垢田中学校区小中合同研修会(小中合同学校運営協議会)

実施日：平成30年8月24日(金)

内容：垢田中学校区3校の教職員および学校運営協議会委員が「知・徳・体」の各部会に分かれ熟議を行うことにより、めざす児童像「ねばり強い子・やさしい子・元気な子」に向けての具体的なプロジェクトの制定をめざしました。

◆学校支援に関する取組

- CSコーディネーターを中心とした活動



裁縫ボランティア

CSコーディネーターが中心となり、婦人会など地域のボランティアと協働した活動「川中西あそぼう会」が毎月2回程度行われています。また、参観日には「未就学児あずかり保育」も行っています。今年度は、5・6年の家庭科「裁縫ボランティア」「ミシンボランティア」、1年の生活科「むかし遊び」、3年の社会科「昔の道具調べ」等の学習の支援活動も行いました。

◆地域貢献に関する取組

- 綾羅木海岸清掃：ラジオ体操

夏休み前に地域主催で行われる綾羅木海岸清掃に、親子で多くの児童が参加しました。清掃前には、本年度6年児童の有志で結成された「川中西小ラジオ体操はつらつ隊」が、地域、保護者、児童の前で、正しいラジオ体操を披露し、みんなでラジオ体操を行いました。ラジオ体操後には、みんなで海岸清掃を行いました。

清掃前のラジオ体操



来年度に向けて

来年度は、中学校区でめざす児童生徒像の実現に向けて、3部会が考えたプロジェクトを中心により具体的な取組を行っていきたいと考えています。今後もコミュニティスクールを核として、学校、地域、保護者をつなぎながら、さらなる「地域とともにある澁刺とした学校づくり」をめざしたいと考えています。

「地域の宝 垢田っ子」の育成をめざして

下関市立垢田小学校

学校運営協議会について

- ・主な協議内容（年間4回：全て19:00～20:00に実施）
 - 第1回…4月27日（金）：今年度の学校経営方針、学校運営協議会の活動計画等
 - 第2回…6月20日（水）：学校の現状と3部会の取組、学校評価についての説明等
 - 第3回…9月19日（水）：学校の現状と2学期の行事、第1回学校評価結果等
 - 第4回…2月13日（水）：学校の現状、第2回学校評価結果、来年度に向けて等

特色ある活動

◆地域の方の学校行事への参加～学校支援～

【学校保健安全委員会】

8月18日（土）に学校保健安全委員会を実施しました。今年度は保護者と教職員だけでなく、学校運営協議会の方と児童も参加して、グループ別に生活習慣や体力づくり、歯の健康について話し合いました。真剣な中にも和やかな雰囲気があり、大人も子供もみんなで意見を出し合いました。

【ジャガイモプロジェクト】

総合的な学習の時間において、「食育」をテーマとした「ジャガイモプロジェクト」を行いました。地域の方を指導者として迎え、PTAの協力も得て育てたジャガイモは、給食でおいしくいただきました。またPTA研修会と共催で6年生がジャガイモ料理作りに取り組みました。



学校保健安全委員会



ジャガイモプロジェクト

◆様々な人とのつながり～地域貢献～

【オレンジカフェ】

認知症の方とその家族の方への支援を行うことや交流を通して認知症の理解を図ること等を目的とした「オレンジカフェ」が昨年度より本校で開催されています。今年度は4年生児童との交流（1月）を行いました。



オレンジカフェ

来年度に向けて

めざす児童像に向かい、地域ぐるみで子供たちを育む活動をとおして、地域全体の連帯感を醸成したいと考えています。そのためにはコミュニティ・スクールに関する周知を更に進め、活動への参加者を増やす必要があります。今後も学校行事やPTA活動等の見直しをしながら、保護者や地域の方が無理なく、笑顔で参加できる方法を地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

挨拶日本一 地域に愛される垢田中をめざして

下関市立垢田中学校

学校運営協議会について

①実施回数と主な協議内容

- 第1回 (5/10) 平成30年度学校運営方針について、授業参観・協議、校内研修への参加
- 第2回 (10/5) 授業参観・協議、前期学校評価について
- 第3回 (2/1) 平成30年度学校運営評価、後期学校評価について
- 第4回 (3/16) 平成31年度学校運営方針について



お弁当を見せ合う生徒たち

特色ある活動

①食育の推進

一昨年度より、下関ふるさと協育ネットや川中地区まちづくり協議会と連携し、「食の自立～自分の食事は自分で作る～」をめざし、本校区全体で食育を進めています。その取組として、保護者や地域住民も参加しての「はなちゃんのみそ汁」の安武信吾さんの講演会と生徒の作る「お弁当の日」を実施しました。「お弁当の日」に向けては、掲示物での広報活動や食育に関する道徳の授業などを通し、機運を高めて行いましたので、苦戦をしながらも自分で作った生徒が多くいました。これを機に、中学校卒業までに「自分の食事は自分で作れる」生徒の育成に向けて地道に取り組んでいきたいです。

②地域貢献（地域ボランティア隊）の活動

今年度は、地域ボランティアを通して自主性や地域住民とのふれあいを深めることをテーマとして取り組んできました。4月には、地域からの要請もあり、綾羅木川河口付近の漂流物等の清掃活動、7月には、通学路が草で覆われた場所の除草作業を自主的に行う、清掃ボランティアを行いました。この除草作業は生徒の発案で行ったもので、自主性の高まりが感じられました。また、今年度は試みとして、ボランティア活動は、地域住民（学校運営協議会委員や学校応援団）と参加した生徒にまとめ役を任せました（昨年度までまとめ役は教員）。その結果、自然と生徒と地域住民との会話も増え、ふれあいの場ともなっていました。

③学校運営協議会と連携した小中合同授業研究の取組

小中の学校運営委員会と連動したユニット型の研修組織（「知」「徳」「体」の3部会）を活用し、小中合同の授業研究（年間3回）の参観・授業後の協議を行っています。昨年度に作成した目指す児童生徒像～ねばり強い子・やさしい子・元気な子～や9年間を見据えた3部会ごとの指導重点目標を元に、テーマを設けて授業を行っています。授業後の協議では、地域住民目線での質問や感想が出され、教職員の授業改善にもつながっています。

来年度に向けて

これまで「挨拶日本一 地域から愛される垢田中」をスローガンに、地域貢献を主体として進めてきました。これからは『トマジエルはみんなに幸せを運ぶエンジェル！いつでも・どこでも・だれでも気軽にボランティア』を合い言葉に、中学生が発信源となり、地域住民と一体となってボランティアの輪を広げる活動を進めていきたいと思えます。

また、業務改善の推進と学校支援の充実を図るために、図書ボランティアと文化委員会（生徒会）が連携した図書室の管理や整備、PTA 環境整備部と生徒会が連携したベルマーク収集活動、環境ボランティアと環境委員会（生徒会）がコラボした校内清掃活動や花壇の整備等、地域や保護者と協働した学校支援活動の充実を図っていききたいと考えています。